

ある町の天気相談所

Vol.36
2020.12.4

令和2年12月号



昭和27年の気象展

天気相談所開設の年に行われた「気象展」のポスターの画像を、初代天気相談所所長山口秀男さんの御子息であられる、山口那津男さん（公明党代表・参議院議員）から提供いただきました。

日立市天気相談所開設記念
気象展

観測から天気予報の発表までの気象の歴史が会場で見学できます。モデル台風の発生、構造、進路、台風の日計、地震の心得、地震分布、地震計、天気予報の出るまで予報の利用の仕方、鉄道と気象災害、大気と季節、大雨、風水害、梅雨、雷雨の心得、雷の被害、津波と地形、津工、津人、その他。

会場にて約1時間、いろいろな疑問を解決！
団体見学歓迎（要予約）

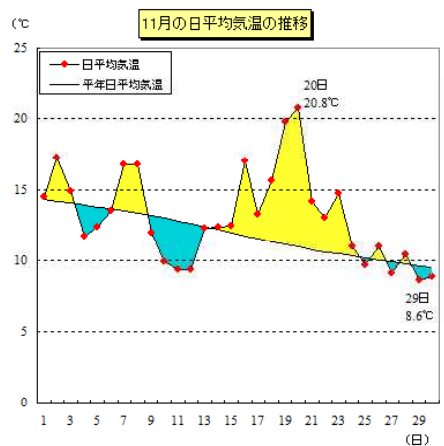
11月2～4日 毎日9時から13時半まで
於日立市立第一高等学校講堂

主催 日立市役所
後援 水戸測候所

お休みのひととき是非気象展へ

11月の気候

11月は移動性の高気圧に覆われる日が多くなりました。月平均気温は13.1℃で、平年より高い気温となりました。上旬は平年並みでしたが、中旬は変動が大きくなり、下旬にかけて高めに推移しました。月合計日照時間は192.1時間と平年の120%と多く、逆に降水量は18.5ミリと少なく、平年の24%しかありませんでした。



1か月予報（気象庁発表）

12月は、平年と同様に晴れの日が多く、期間のはじめを中心に寒気の影響を受けにくいため、気温ははじめ平年より「高い」ですが、その後は「ほぼ平年並み」となり、降水量、日照時間はともに「ほぼ平年並み」の見込みです。

天気相談所のあゆみ

講演会・出前講座2
「第1回気象展」について、詳細な資料が残っていないと紹介しましたが、ポスターの画像（1段目左側の写真）を山口那津男さんから提供いただきました。

ポスターによると、会場に測候所（現在の気象台）を再現して、気象の観測から天気予報の発表の様子を紹介したり、台風、地震、津波、大雨と風水害、雷などの気象災害防止のための知識、鉄道と気象災害、人工降雨などを、図表により紹介していたようです。また、東京管区気象台長や気象研究所長による講演会、暴風や火山、富士山山頂の観測所のように紹介する映画の上映などをおこなっていたようです。

気象災害防止を大きな目的として、当時は、地方ではなかなか、聞くこと、見ることでできないようなお話しや、資料の展示がされていたように感じました。これらは、水戸測候所（現水戸地方気象台）などの協力もあり、実現できたのかと思います。

天気用語の基礎知識

冬型の気圧配置

冬になると、大陸の内陸部である、シベリアや中国東北区には、高気圧が発生します。この高気圧は、陸地が冷えて、そこに接している空気が、広い範囲で冷やされることで発生します。また、発達した低気圧が日本の東の海上や千島列島、オホーツク海にかけて進むと、日本を中心に、西側に高気圧、東側に低気圧となり、冬型の気圧配置となります。

神峰の山から

日立駅前の、日立シビックセンター18階9階にある科学館。令和3年4月のオープンに向けて、施設の整備が行われています。新しい科学館は「より科学が身近に感じられ、子どもから大人まで楽しみながら学べる」施設に生まれ変わるそうです。いろいろな体験ができるのではないかと楽しみにしているのですが、その科学館から、天気相談所にも協力の要請がありました。さて、新しい科学館には、気象や、天気相談所に関する展示ができるのでしょうか。オープンがさらに楽しみになってきました。

科学館で、講座や実験などができるようにしたいなあ。